

平成26年度 第1回 CCC 電気通信工学グループ運営委員会議事録

I. 日時： 平成26年6月21日（土） 12時00分から14時30分まで

II. 場所： 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 玉野委員、岳委員、小林委員
井端事務局長、野本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 平成26年度の委員会活動として、能動的学修の実現に向けた効果的な取り組みについての研究を行う。このため、国内大学におけるアクティブ・ラーニングの実践事例を参照しながら課題を議論した。以下にその要点を記す。

- ・ 教員が各自の授業内容を振り返り、能動的学修が行われているかどうかの点検を行うことが必要と考えられる。
- ・ アクティブ・ラーニングについて教員が開発したノウハウやツールを蓄積し、集積した教育情報を教員が学びあい共有することが効率的と考えられる。その取り組みを支援するための組織の構築も重要である。
- ・ TA・SAの役割も重要であり、その雇用制度を整備することも必要である。

(2) 教員のアクティブ・ラーニング実施事例を相互に紹介し、情報交換を促進するための対話集会を開催することが決定された。対話集会の開催要領について議論し、以下の事項が決まった。

- ・ 対話集会の名称は「電気通信工学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究」とする。
- ・ 時間は2時間を目途とし、対話集会を録画しインターネットで配信する。
- ・ 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯（10分）を紹介した後、3名程度の教員からアクティブ・ラーニングに取り組んだ事例を報告していただく。その後、意見交換を行い、課題を整理しまとめを行う。
- ・ 開催日時：2014年12月25日（木）14時からとする。
- ・ 会場は東海大学で検討することにした。

2. 次回までの宿題

(1) 対話集会での話題提供を以下の先生方へお願いする。

- ① 東海大学でシミュレーション情報工学またはLSIプロセス工学の事例を検討することにした。
- ② 芝浦工業大学の情報実験の事例を検討することにした。

(2) 対話集会で話題提供してくださる教員を公募することにした。

V. 次回の開催日程

平成26年9月1日（土） 12時00分から14時00分まで。場所：事務局会議室